

## <インストール後にアプリケーションを実行する>

注) このドキュメントは、*InstallShield 2015 Premier Edition* を基に作成しています。*InstallShield 2015* 以外のバージョンでは設定名などが異なる場合もあります。

### 概要

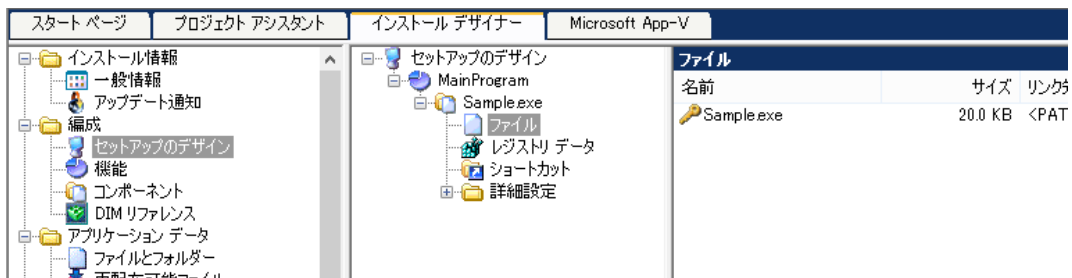
セットアップ完了後に、インストールしたアプリケーションを起動させたい場合があります。セットアップ完了ダイアログで、アプリケーションを起動するかどうかチェックボックスで選択させ、完了ボタン押下後にアプリケーションを起動する方法について紹介します。

### A. 基本のMSI プロジェクト

基本の MSI プロジェクトでは SetupCompleteSuccess ダイアログボックスの [完了] ボタンのコントロールイベントでカスタムアクションを呼び出します。

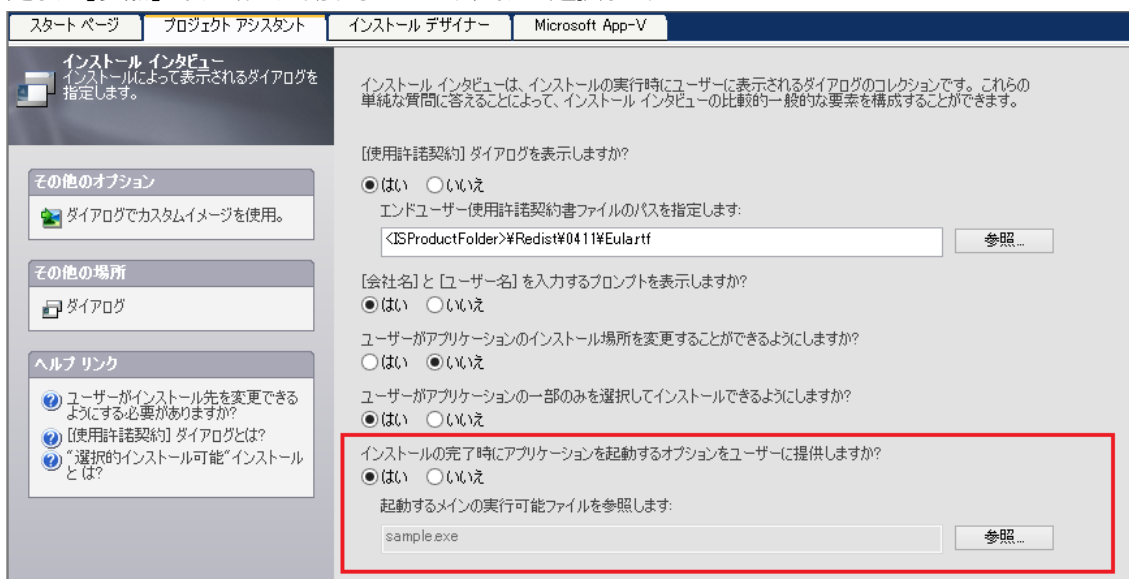
プロジェクトアシスタントのインストールインタビュを使用することで、簡単に設定を行うことができます。

1. [インストール デザイナー] タブで、あらかじめインストールするファイルをコンポーネントに追加しておきます

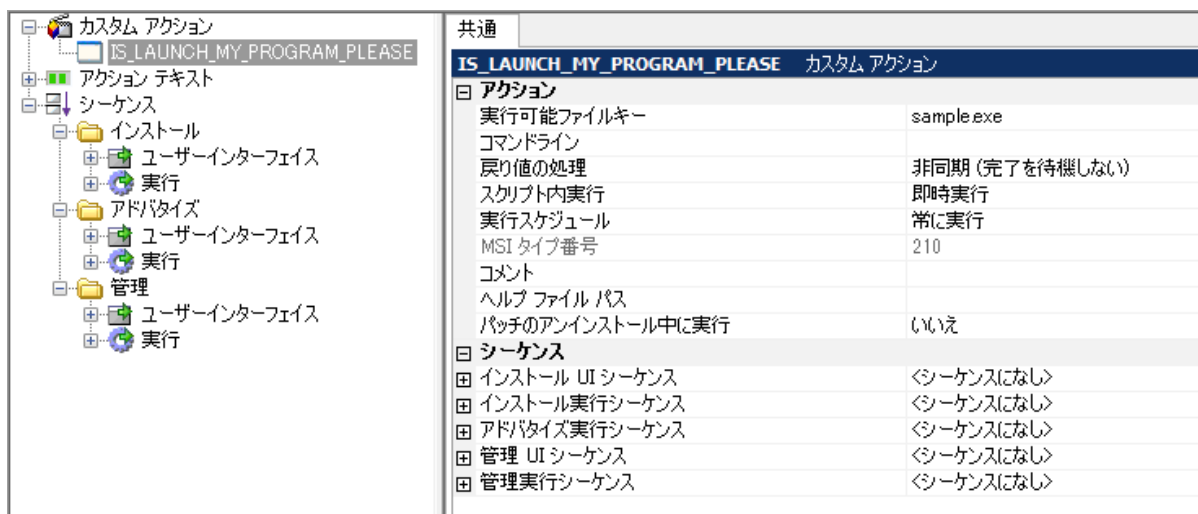


2. [プロジェクトアシスタント] タブで [インストールインタビュ] ページを表示します

3. [インストールの完了時にアプリケーションを起動するオプションをユーザーに提供しますか?] オプションを [はい] に設定し、[参照] ボタンから起動する .exe ファイルを選択します



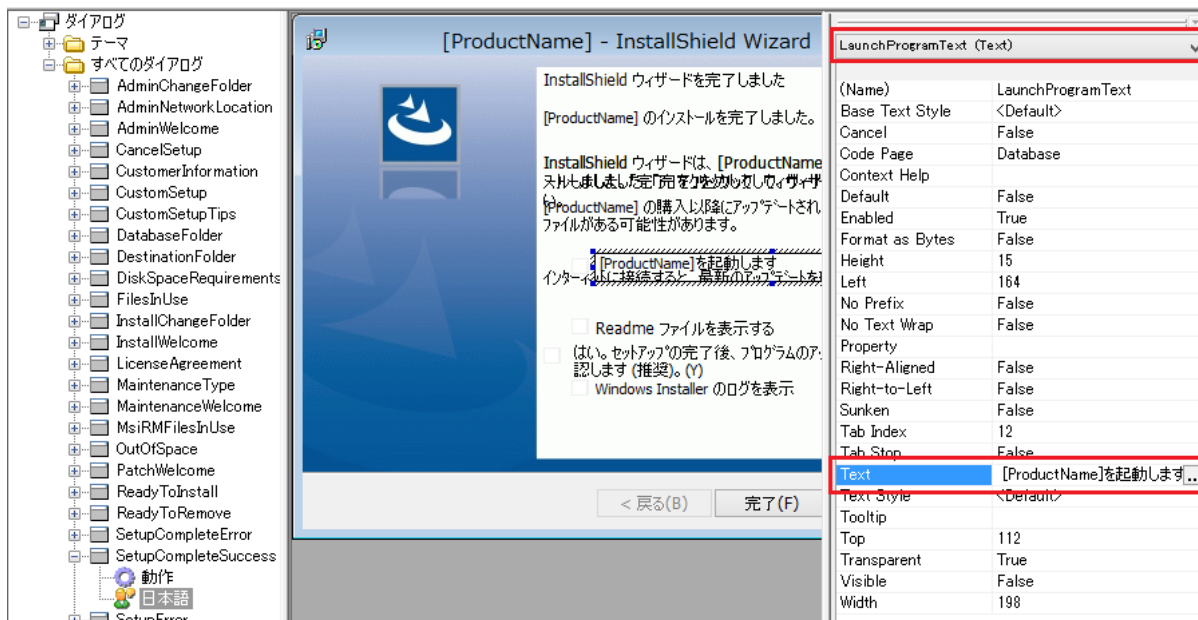
4. [インストールデザイナー] タブへ移動し、[動作とロジック] - [カスタムアクションとシーケンス] ビューを表示します。  
[IS\_LAUNCH\_MY\_PROGRAM\_PLEASE] というカスタムアクションが追加されていることを確認します。手順 3 の  
オプションで [はい] を選択すると、自動的に追加されます



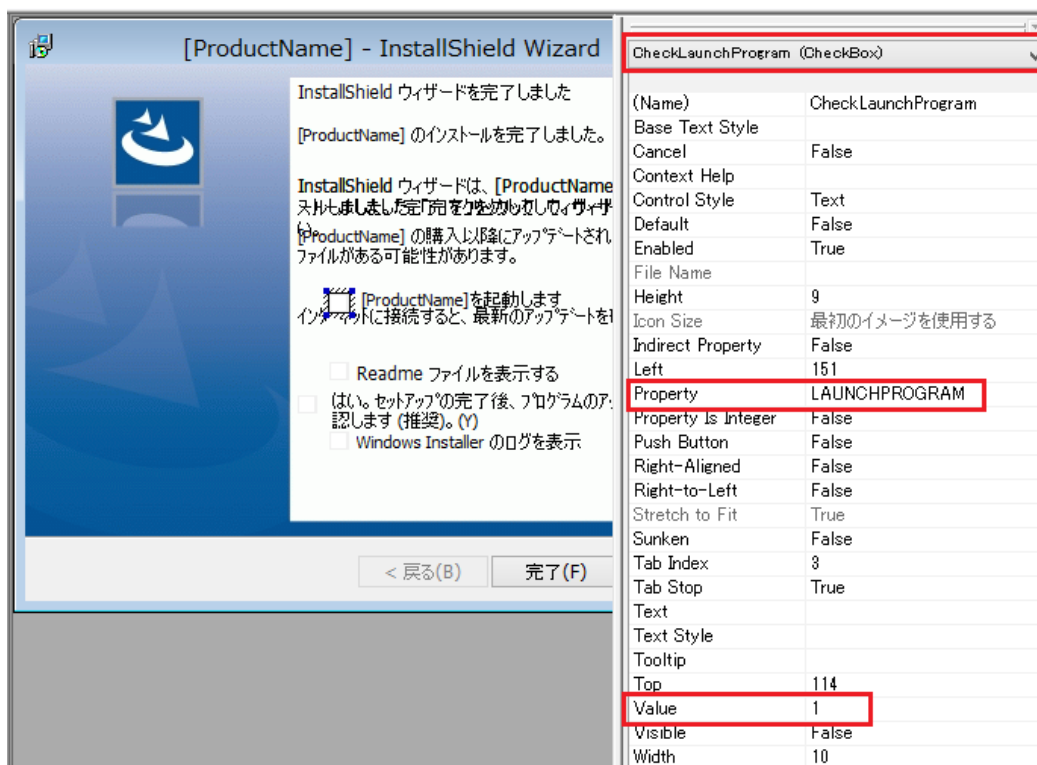
5. [ユーザーインターフェイス] - [ダイアログ] ビューで、SetupCompleteSuccess の [日本語] ノードを選択します
6. 右上のリストから [LaunchProgramText(Text)] を選択し、[Text] プロパティの内容を変更します

例) Text : [ProductName]を起動します

※Text プロパティは、チェックボックスの説明文に相当します

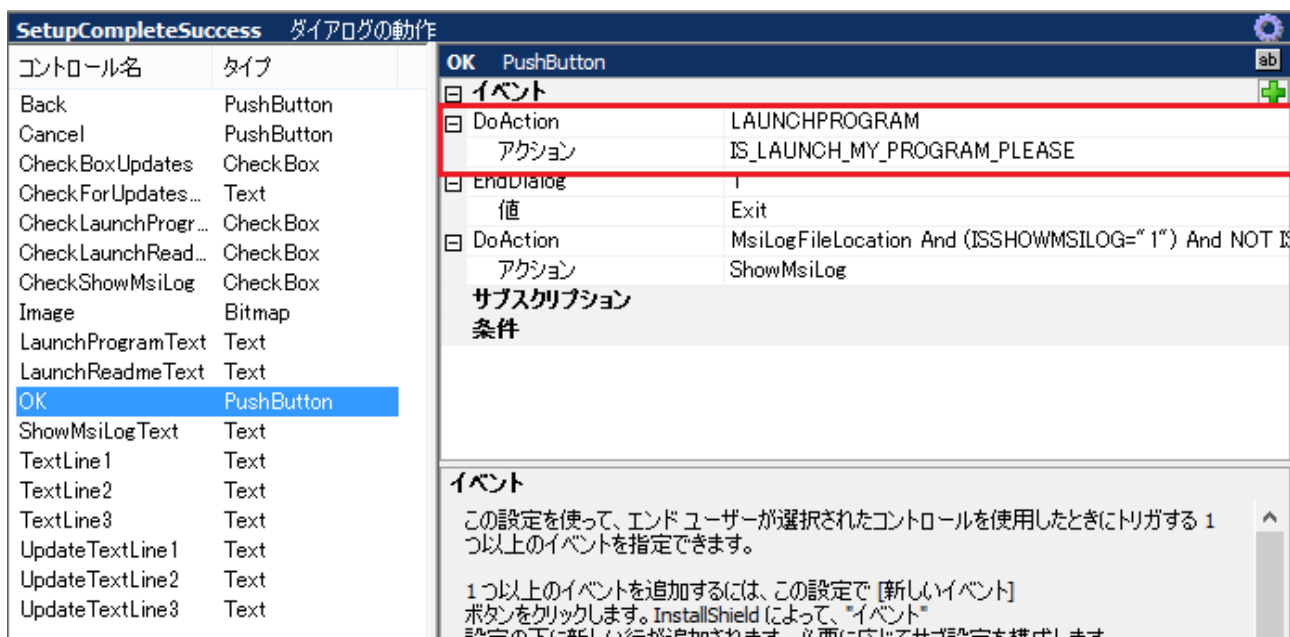


7. 右上のリストから [CheckLaunchProgram(CheckBox)] を選択し、[Property] と [Value] プロパティを確認します



※チェックボックスを選択したときに「LAUNCHPROGRAM」プロパティに、「Value」プロパティの値「1」がセットされることを意味します

8. [ユーザーインターフェイス] - [ダイアログ] ビューで、SetupCompleteSuccess の [動作] ノードを表示し、[OK] コントロールを選択します

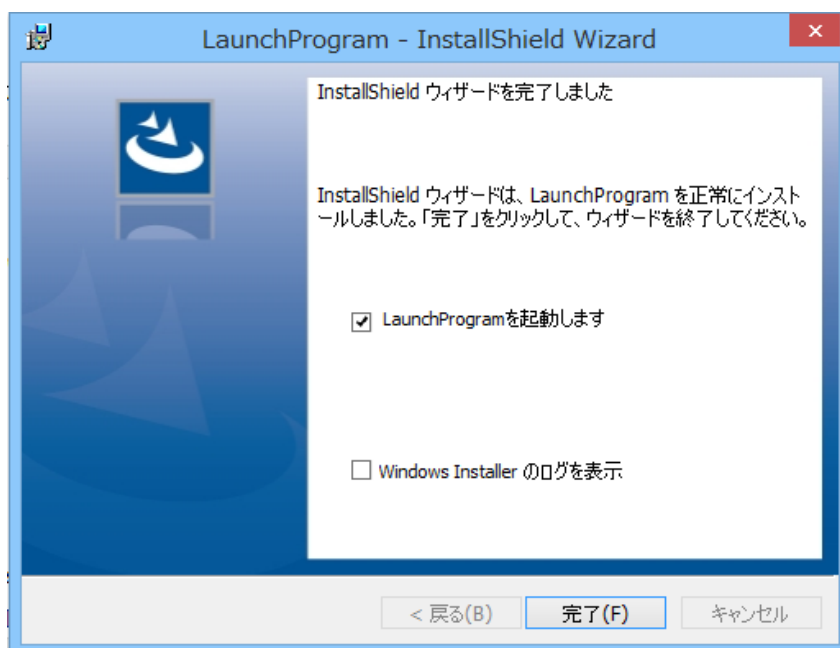


DoAction コントロールイベントでは、実行するアクションとして「IS\_LAUNCH\_MY\_PROGRAM\_PLEASE」、実行条件として「LAUNCHPROGRAM」が設定されています。

これはユーザーが SetupCompleteSuccess でチェックボックスを選択し、「LAUNCHPROGRAM」が設定されたときに手順 4 で確認したカスタムアクション「IS\_LAUNCH\_MY\_PROGRAM\_PLEASE」が実行されるという設定になります。ユーザーがチェックボックスを選択しないと、条件は偽となりカスタムアクションは起動しません。

#### 9. ビルドしてインストールを実行します

セットアップの完了画面で、「LaunchProgram を起動します」というチェックボックスが追加され、チェックをつけて[完了]ボタンをクリックすると、プログラムが起動します



#### TIP: チェックボックスのデフォルト値

デフォルトでは LAUNCHPROGRAM プロパティは生成されていないため、チェックボックスは非選択の状態となります。チェックボックスを選択済みの状態を表示するには、[プロパティ マネージャー]ビューにてLAUNCHPROGRAMを追加し、値を 1 とします。

## B. InstallScript プロジェクト

InstallScriptプロジェクトでは OnFirstUIAfter イベントハンドラの修正によりアプリケーションの起動オプションを追加できます。SdFinish ダイアログの動作を編集することで、[完了]ボタン押下時にアプリケーションを起動させることが可能です。

1. [インストール デザイナー] タブで、あらかじめインストールするファイルをコンポーネントに追加しておきます
2. [動作とロジック] - [InstallScript] ビューで、右ペイン上部より [After Move Data] - [On FirstUIAfter] を選択します
3. OnFirstUIAfter の以下の行を修正します

[修正前]

```
SdFinish(szTitle, szMsg1, szMsg2, szOpt1, szOpt2, bvOpt1, bvOpt2);
```

[修正後]

```
bvOpt1 = TRUE; // チェックボックスの有効化
szOpt1 = "%p を起動します。"; // %p は製品名に置き換わります
SdFinish(szTitle, szMsg1, szMsg2, szOpt1, szOpt2, bvOpt1, bvOpt2);
if (bvOpt1) then
    LaunchApp(TARGETDIR ^ "sample.exe", "");
endif;
```

```
Function OnFirstUIAfter()
    STRING szTitle, szMsg1, szMsg2, szOpt1, szOpt2;
    NUMBER bvOpt1, bvOpt2;
begin

    ShowObjWizardPages(NEXT);

    szTitle = "";
    szMsg1 = "";
    szMsg2 = "";
    szOpt1 = "";
    szOpt2 = "";
    bvOpt1 = FALSE;
    bvOpt2 = FALSE;
    |

    //{{IS_SCRIPT_TAG(Dlg_SdDinishEx)
    if ( BATCH_INSTALL ) then
        SdFinishReboot ( szTitle , szMsg1 , SYS_BOOTMACHINE , szMsg2 , 0 );
    else

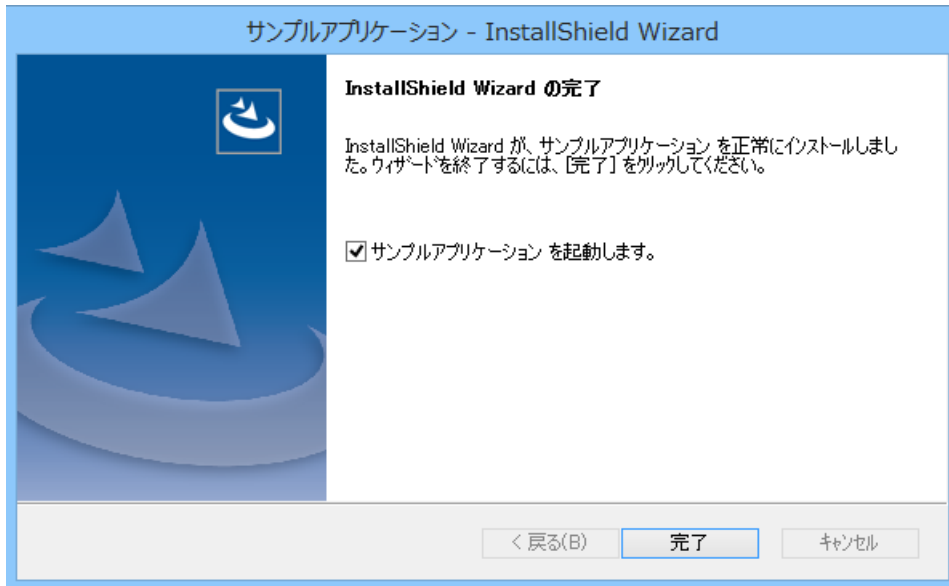
        // SdFinish ( szTitle , szMsg1 , szMsg2 , szOpt1 , szOpt2 , bvOpt1 , bvOpt2 );

        bvOpt1 = TRUE; // チェックボックスの有効化
        szOpt1 = "%p を起動します。"; // %p は製品名に置き換わります
        SdFinish(szTitle, szMsg1, szMsg2, szOpt1, szOpt2, bvOpt1, bvOpt2);
        if (bvOpt1) then
            LaunchApp(TARGETDIR ^ "sample.exe", "");
        endif;

    endif;
    //}}IS_SCRIPT_TAG(Dlg_SdDinishEx)
end;
```

## 4. ビルドして、インストーラーを実行します

sdFinish ダイアログで、「サンプルアプリケーションを起動します」というチェックボックスが追加され、チェックをつけて[完了] ボタンをクリックすると、プログラムが起動します



以上